

証券コード：4012
東証スタンダード



株式会社アクシス

2024年12月期第1四半期

決算補足説明資料

2024年5月9日

目次

1. 2024年12月期第1四半期 決算実績
2. トピックス
3. 2024年12月期 通期業績見通し

Appendix

- ・ 中期経営計画 Vision2027
- ・ 財務ハイライト



1

2024年12月期第1四半期 決算実績

決算サマリー

売上高

1,806百万円 


(前年同期比 +16.8%)

営業利益

219百万円 

(前年同期比 +11.4%)

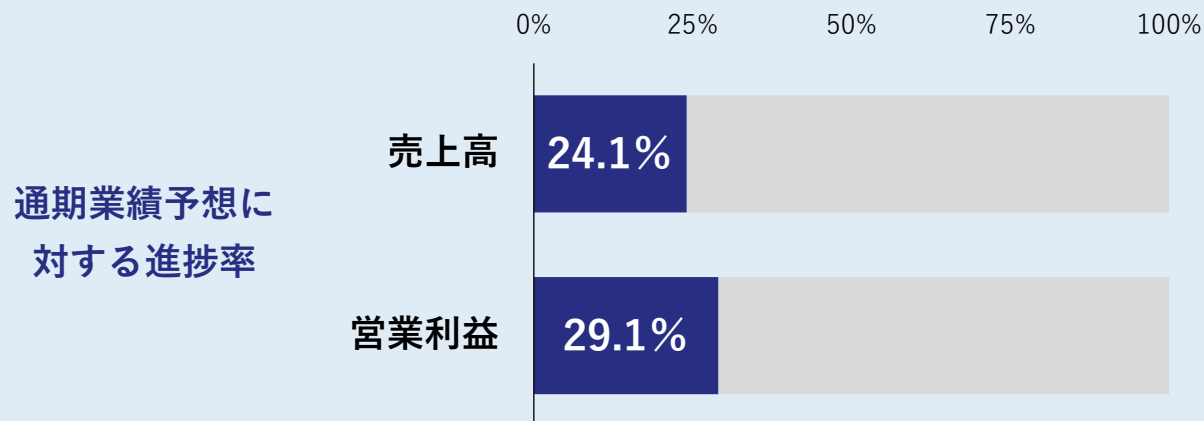
営業利益率

12.1% 

(前年同期比 -0.6p)

ポイント

- 売上高は前年同期比+16.8%、営業利益も同+11.4%と好調
- 営業利益率は12.1%と前年同期と同水準を維持
- 通年業績予想に対して進捗率は順調に推移
- システムインテグレーション事業は大幅増収
- ITサービス事業は前年同期比で30%以上の増収



損益計算書サマリー

ポイント1

- 売上高はシステムインテグレーション事業、ITサービス事業ともに好調で前年同期比で大幅増

ポイント2

- 売上総利益率は前年同期を下回ったものの、営業利益率は前年並みの水準を確保

(百万円)	2023/12期 1Q	2024/12期 1Q	前年同期比		通期業績 予想 に対する 進捗率
			増減額	増減率	
売上高	1,547	1,806	+259	16.8%	24.1%
売上総利益	422	462	+40	9.5%	23.8%
営業利益	196	219	+22	11.4%	29.1%
経常利益	202	226	+24	12.0%	29.6%
四半期純利益	131	145	+13	10.6%	27.7%
1株当たり純利益 (円)	32.44	34.95	+2.50	7.7%	
売上総利益率	27.3%	25.6%		-1.7p	
営業利益率	12.7%	12.1%		-0.6p	
経常利益率	13.1%	12.5%		-0.6p	

営業利益 増減益要因分析

ポイント1

- 受注の増加と顧客単価の向上による大幅な増益

ポイント2

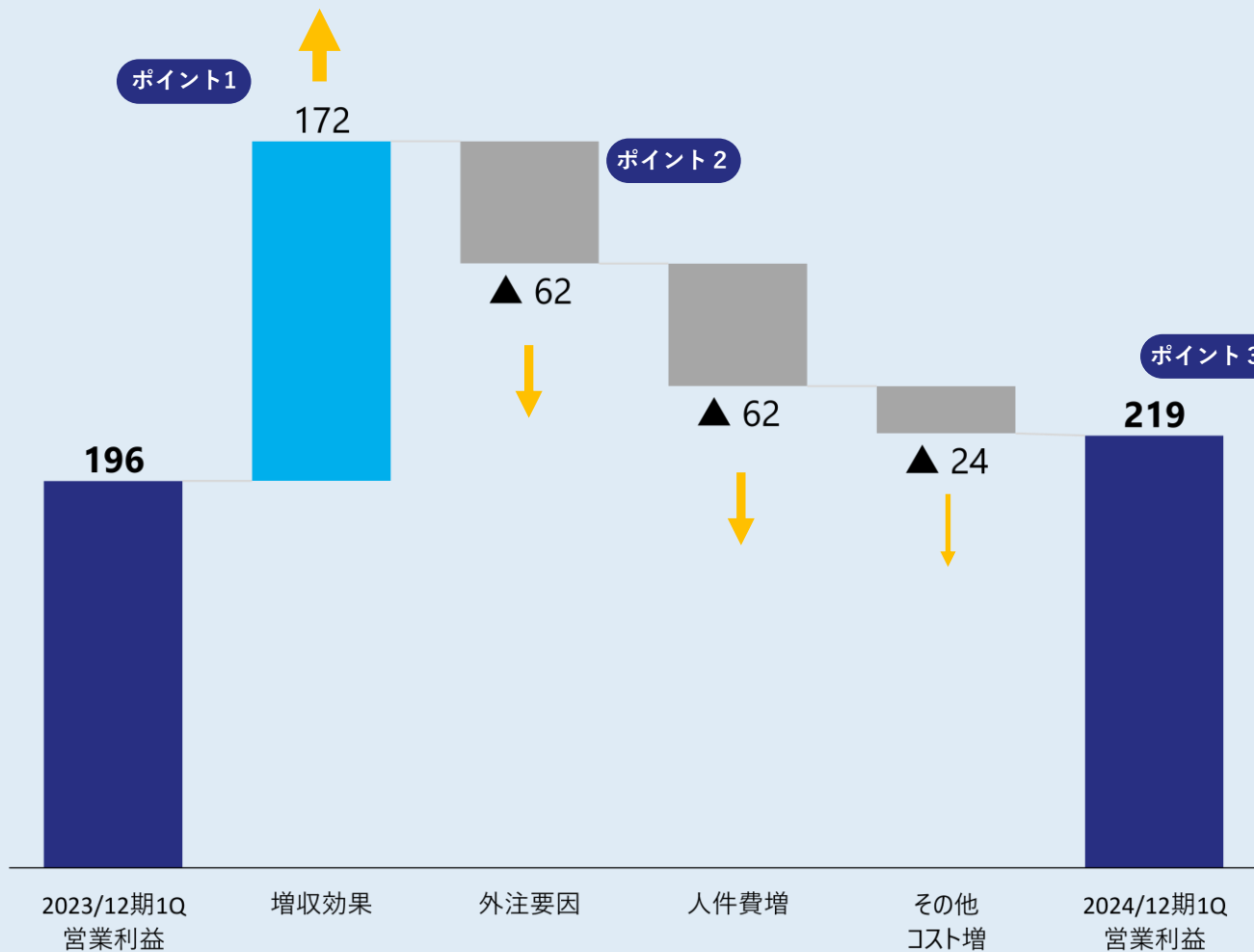
- 受注の増加に伴う人件費やパートナー費用が増加

ポイント3

- 増収効果が増加費用を吸収し増益を達成

営業利益 増減益要因 (▲はマイナス影響)

(百万円)

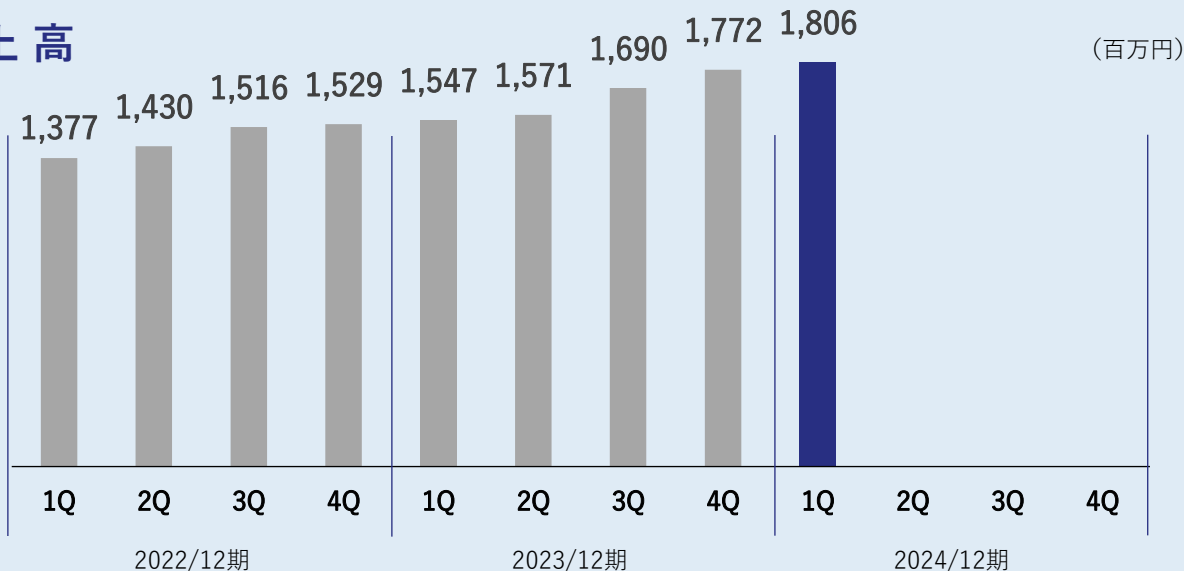


四半期業績推移

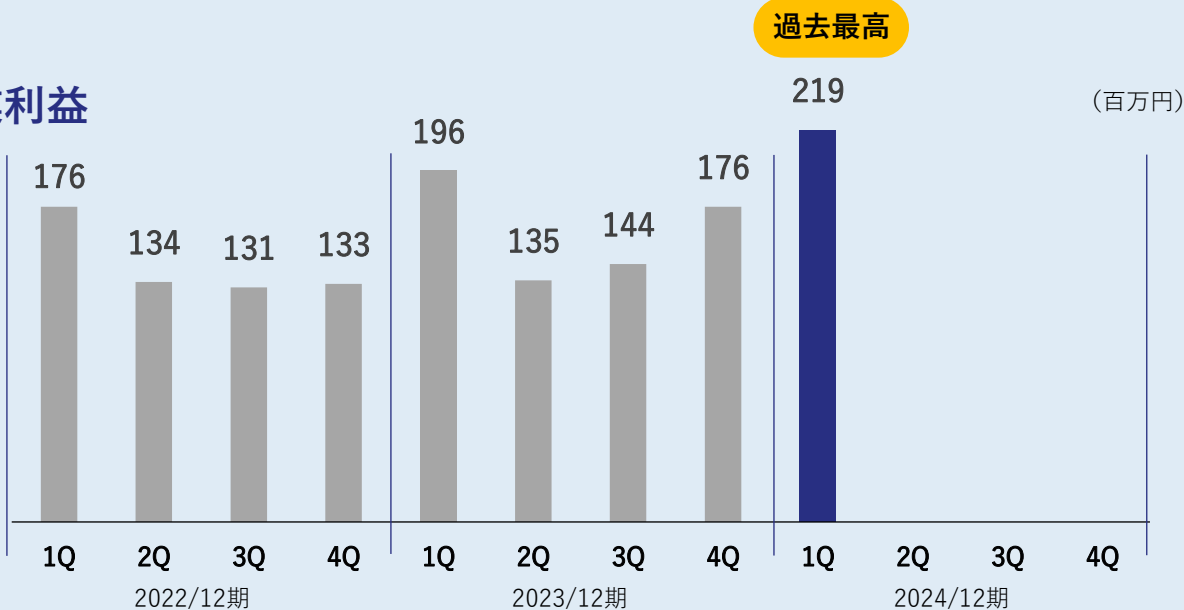
ポイント

- 四半期業績は好調に推移し、売上高及び営業利益ともに四半期決算で過去最高を更新

売上高



営業利益



*新卒者採用に伴う人件費負担の影響により、1Qと2Q以降の営業利益に差が生じる季節性あり

事業別売上高・主要KPI

(百万円)

ポイント1

- システムインテグレーション事業は新規契約の獲得などにより受注残高が増加

ポイント2

- 社員一人あたりの売上高は7.5%の大幅増

ポイント3

- 「KITARO」の契約台数は順調に増加

	2023/12期 1Q	2024/12期 1Q	前年同期比	
			増減額	増減率

事業別売上高

システムインテグレーション事業(SI)	1,466	1,697	+231	15.8%
ITサービス事業(IT)	81	109	+27	34.4%
合計(売上高)	1,547	1,806	+259	16.8%

主要KPI

SI 受注残高(百万円)	1,594	1,837	+242	15.2%
SI 社員一人当たり売上高(千円)	3,759	4,041	+282	7.5%
IT 「KITARO」契約台数(台)	8,201	8,423	+222	2.7%

事業別売上高

システムインテグレーション事業

ポイント1

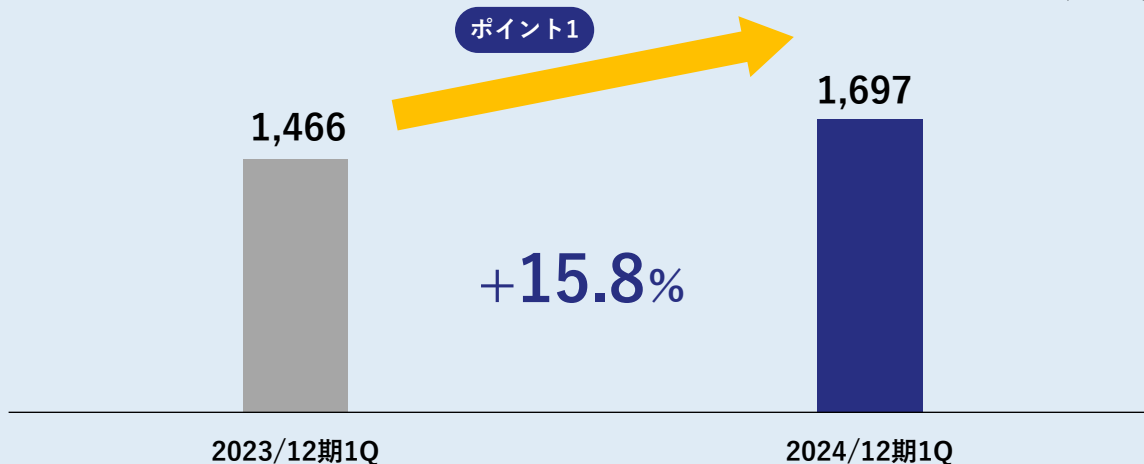
- DX関連を含む企業のITシステム投資意欲が活発な市況のもと、旺盛な顧客需要の取り込みや顧客単価の向上により大幅な増収を実現

ポイント2

- 新規契約及び既往契約の拡充が順調に推移し受注残高は過去最高を更新

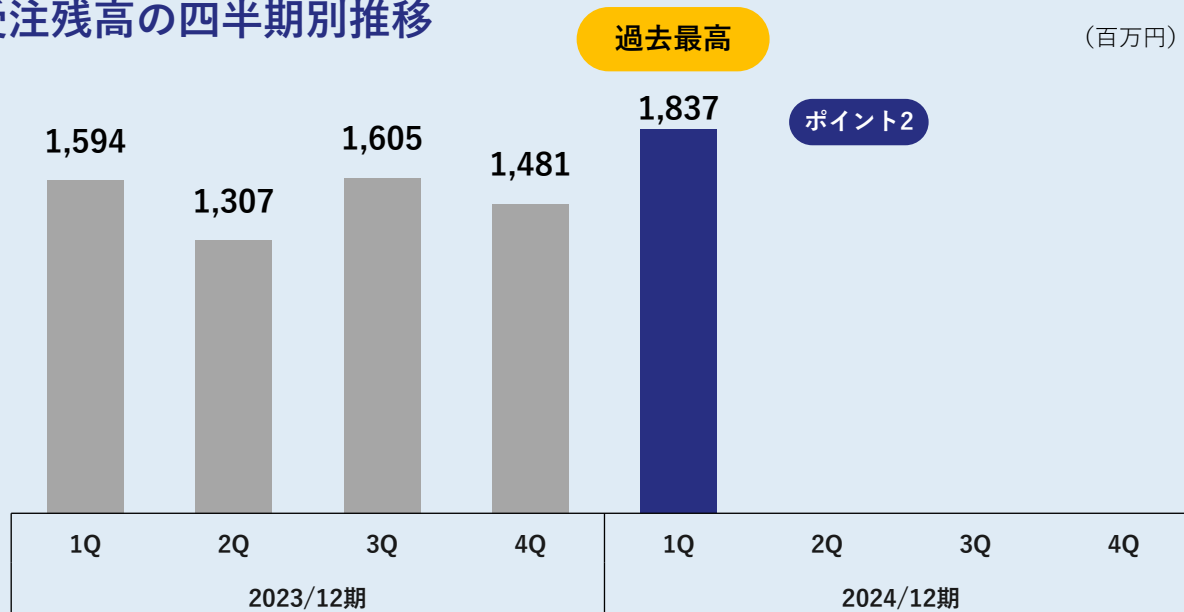
システムインテグレーション事業 売上高

(百万円)



受注残高の四半期別推移

(百万円)



事業別売上高

システムインテグレーション事業
業種別売上高

- 銀行及び公共・社会インフラ領域が前年同期比で大幅増収

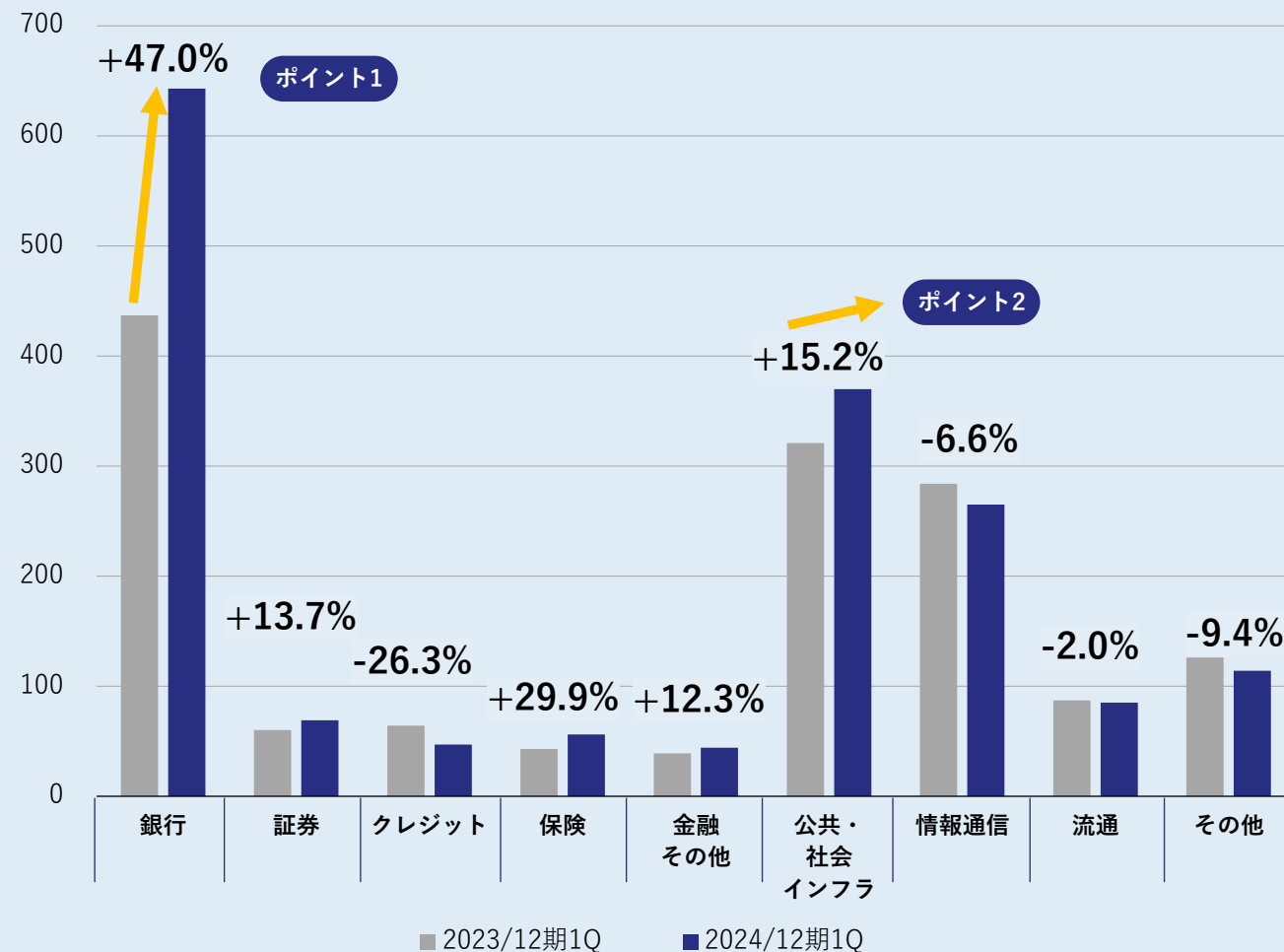
ポイント1

- 銀行向けは長期大型案件を含む新規案件の受注により大幅増収

ポイント2

- 公共・社会インフラは、直接受注を含む官公庁案件及び航空系案件の受注により増収

(百万円)



事業別売上高

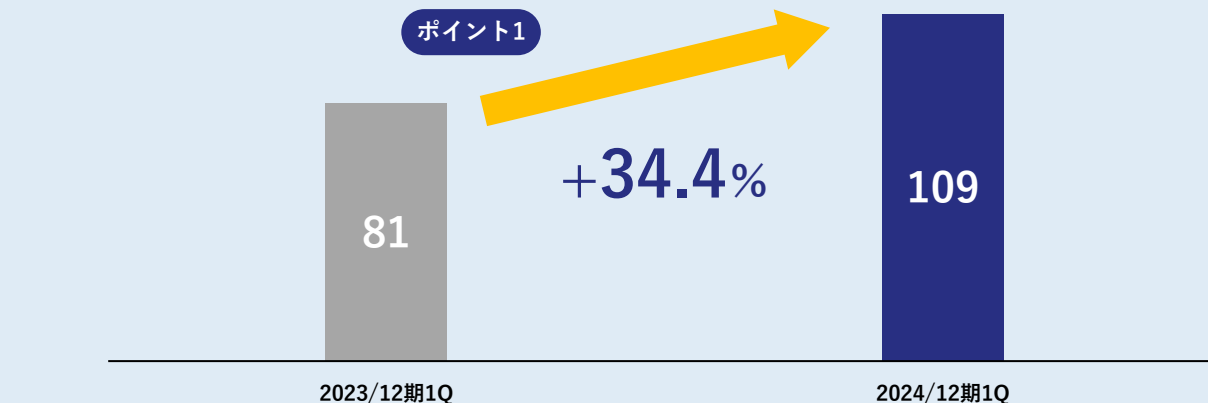
ITサービス事業

ITサービス事業 売上高

(百万円)

ポイント1

- 売上高は新規契約の獲得などにより前年同期比で大幅な増収

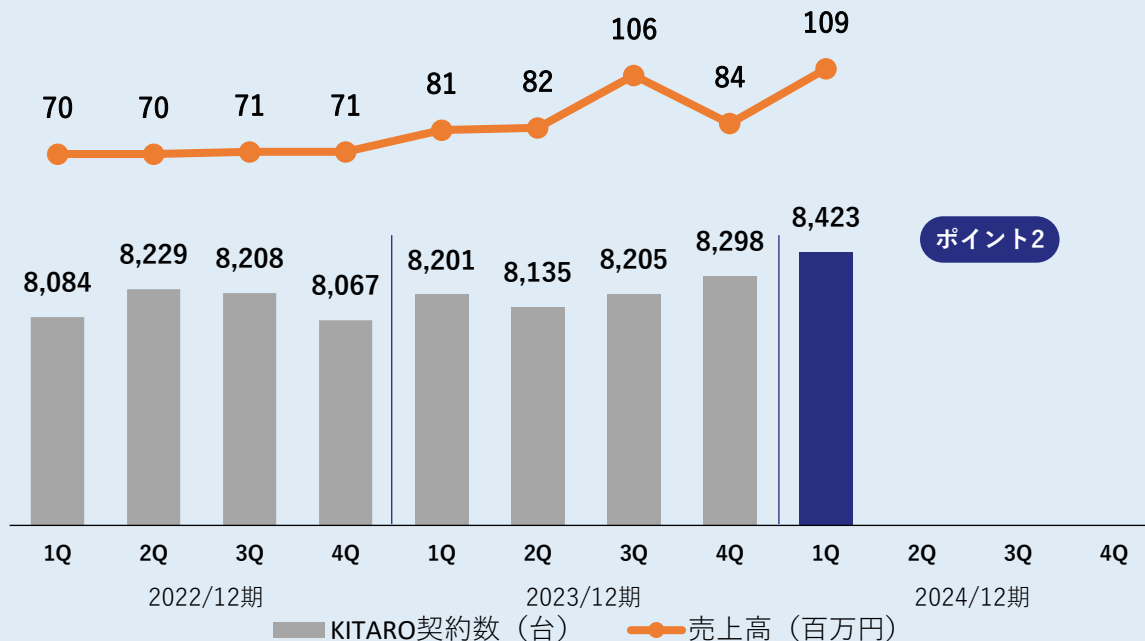


- 他社サービスへの技術支援契約の獲得も増収に寄与

四半期別売上高と「KITARO」契約台数の推移

ポイント2

- クラウドサービス「KITARO」の契約台数は順調に推移



B/Sの状況

ポイント

- 好調な業績を反映して、引き続き良好な自己資本比率を維持

主なB/Sの状況

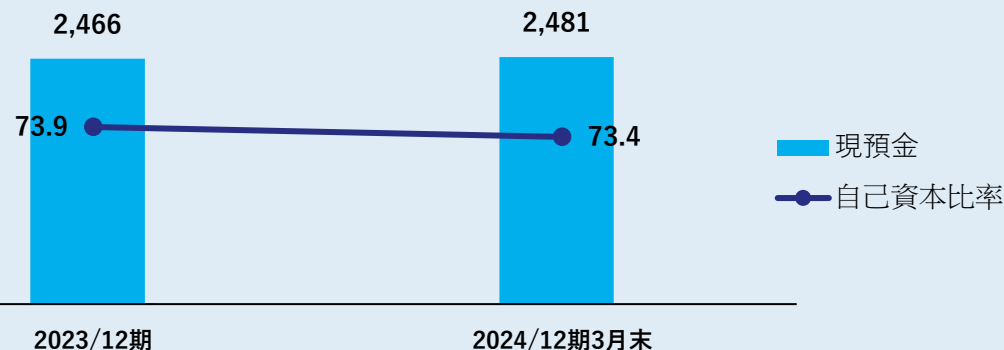
(百万円)

	2023/12期	2024/12期 3月末	前期比増減
流動資産	3,482	3,622	+140
現預金	2,466	2,481	+15
売掛金及び契約資産	941	1048	+106
棚卸資産	27	21	▲5
固定資産	582	610	+28
のれん	215	207	▲7
総資産	4,064	4,232	+168
負債	1,061	1,125	+64
買掛金	269	273	+3
有利子負債	—	—	—
退職給付引当金	260	266	+5
純資産	3,003	3,107	+104
負債純資産合計	4,064	4,232	+168
自己資本比率	73.9%	73.4%	▲0.5p

ポイント

主な財務数値の状況

(百万円)



2

トピックス

代表取締役社長執行役員COO 横田の インタビュー記事が掲載されました

当社 代表取締役社長執行役員COOの横田のインタビュー記事が経済・金融情報サイト『ZUU online』と『NET MONEY』に掲載されました

💡 掲載メディア
ZUU online、NET MONEY

💡 出版社
株式会社ZUU

💡 掲載記事
「上場企業特集第7弾：社長の右腕～影の参謀役」
※記事内容は副社長執行役員当時のものです。



■紹介URL

<https://zuuonline.com/archives/281061>

2024年度 43名の新入社員入社

2024年4月1日、本社35名、地方拠点8名の合計43名の新入社員が入社しました。



当社では、新卒者の採用を毎年継続しており、来年は45名程度の採用を計画しています。

スポーツひのまるキッズの活動に賛同し、 2014年から協賛

2024年1～3月は、2つの大会とイベントに協賛いたしました、柔道大会ではアクシス賞として大会を支えるボランティアスタッフの皆様にはスポーツタオルを贈呈しております。



写真提供：一般社団法人スポーツひのまるキッズ協会

当社は、親子の絆を深めるスポーツひのまるキッズの活動に賛同し、2014年から協賛しています。これからも当社は、子どもたちが明るく過ごせる社会のために活動をしていきます。

「健康経営優良法人 2024（大規模法人部門）」認定

当社は日本健康会議の推進する健康経営優良法人認定制度に認定されました。

健康経営優良法人認定制度は地域の健康課題に即した取り組みや日本本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



■健康経営優良法人認定制度(経産省)

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html

■ポータルサイト（健康経営優良法人認定制度）

https://kenko-keiei.jp/houjin_list/

当社はこれからも、女性の活躍推進、育児・介護サポート、生活習慣病予防やメンタルヘルス対策、有給休暇取得率の向上や平均残業時間の削減などによるワーク・ライフ・バランスの向上などに取り組み、社員全員がいきいきと働くことができる会社づくりに取り組んでまいります。

3

2024年12月期 通期業績見通し

(期初予想より変更なし)

通期業績見通しサマリー


売上高

7,504百万円 
(前期比 +14.0%)

営業利益

752百万円 
(前期比 +15.2%)

営業利益率

10.0% 
(前期比 +0.1p)

業績

- 14%増収、15%営業増益と5期連続の増収・増益、過去最高更新を見込む
- 人材への成長投資を行いながら、成長性の高い領域へシフトすることで利益率の拡大を図り、営業利益率は経営目標である10%を見込む

配当

- 配当は、1株当たり7円増配し25円(配当性向20%)を予想

外部要因

- DXを含む企業のITシステム投資は引き続き好調想定（金融、成長領域、直ユーザー案件受注増を見込む）

2024年12月期の通期業績見通し

ポイント1

- DXを含む企業のITシステム投資は引き続き好調を想定

ポイント2

ポイント2

- システムインテグレーション事業は14.5%の増収、ITサービス事業では5.7%の増収を見込む

ポイント3

ポイント3

- プロジェクト単価、高収益案件へのシフトより売上総利益率が上昇するものの人材投資などの先行投資により営業利益率は前期同様を見込む

	2023/12期	2024/12期 通期業績見通し	前期比	
			増減額	増減率
売上高	6,581	7,504	+922	14.0%
システムインテグレーション事業(SI)	6,227	7,130	+902	14.5%
ITサービス事業(IT)	353	374	+20	5.7%
売上総利益	1,624	1,944	+319	19.6%
営業利益	652	752	+99	15.2%
経常利益	666	765	+98	14.8%
当期純利益	462	526	+63	13.7%
1株当たり当期純利益 (円)	113.13	125.11	+11.98	10.6%
売上総利益率	24.7%	25.9%		+1.2p
営業利益率	9.9%	10.0%		+0.1p
経常利益率	10.1%	10.2%		+0.1p

業績見通し前提

SI	プロジェクト件数 (件)	311	330	+19	6.1%
SI	プロジェクト平均売上高 (千円)	20,023	21,606	+1,582	7.9%
SI	社員一人当たり売上高 (千円)	14,652	14,731	+78	0.5%
IT	「KITARO」契約台数 (台)	8,298	8,615	+317	3.8%

ポイント1

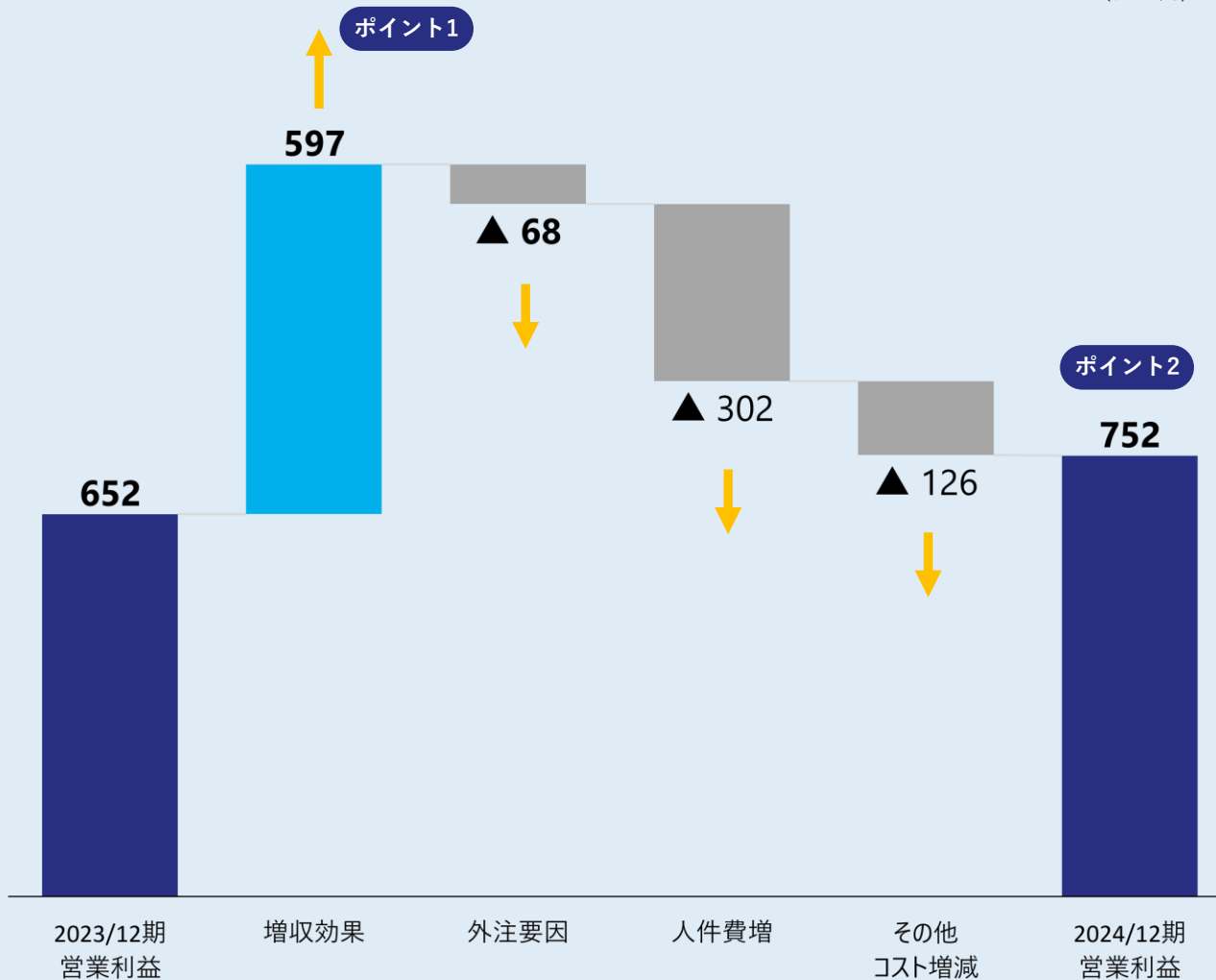
- 堅調な企業のIT投資により継続して売上の拡大を見込む

ポイント2

- ITコンサルの中途採用や営業スタッフ増強による人件費増を吸収し、営業利益は大幅増の見通し

営業利益 増減益要因 (▲はマイナス影響)

(百万円)



事業別売上高見込み

システムインテグレーション事業

ポイント1

- 引き続き、クラウド開発案件など、企業のDX/IT投資は好調に推移する見込み

ポイント2

- 官公庁関連及び金融大型案件受注を想定

ポイント3

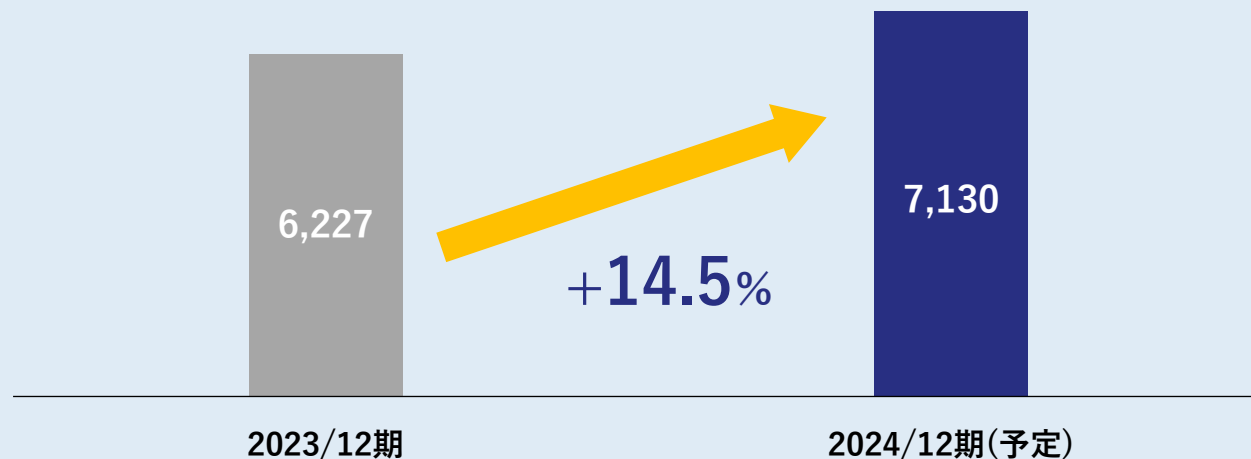
- ITコンサルへのシフトと、成長性の高い領域の拡大を進める

売上高

7,130

百万円

(百万円)



重点施策

高収益案件へシフト

- クラウド化導入支援などの成長領域や直ユーザー案件受注に注力
- 強みである金融分野、公共・社会インフラ分野を更に増加

受注体制の増大

- パートナー比率45%以上を目指す
- パートナーとの共創意識を醸成し、強固な取引関係を構築

人材の増強とITコンサル営業の強化

- コンサルファームとの営業連携
- 既存人材のITコンサル職への転換

事業別売上高見込み ITサービス事業

ポイント1

- クラウドサービスは、「KITARO」の契約台数が2023年12月期第3四半期以降、増加傾向のため需要回復を想定。「KITARO」での機能アップや新たなサービスの提供により多様化を図る

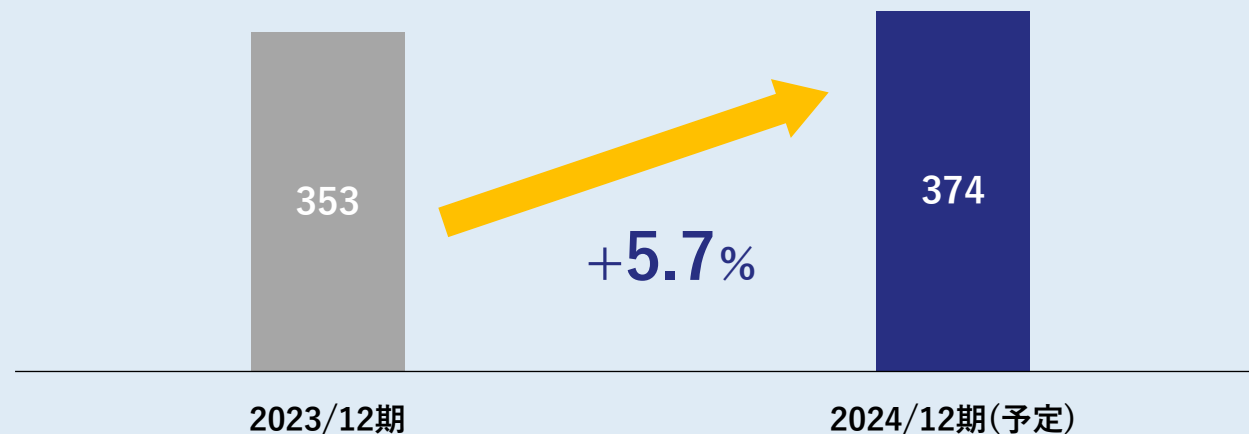
ポイント2

- セキュリティ及びデジタルコンサルティングサービスは、事業の安定化に向けた活動を継続

売上高

374百万円

(百万円)



重点施策

クラウドサービス

- 「KITARO」は、広告宣伝を積極的に展開し、期末契約台数8,615台（+317台）を計画
- クラウドを活用した新たな社会課題解決型サービスの提供を開始予定

デジタルコンサルティング・セキュリティサービス

- 中小企業のバックオフィス業務効率化に注力
- 多様なDXのニーズに応えるため、デジタル化を支援するサービス及び製品の拡充と整備を進める
- エンドポイントなどのセキュリティ製品の販売

株主還元

ポイント1

- 2023年12期の配当については増益に伴い、当初予想の15円から18円へと増額

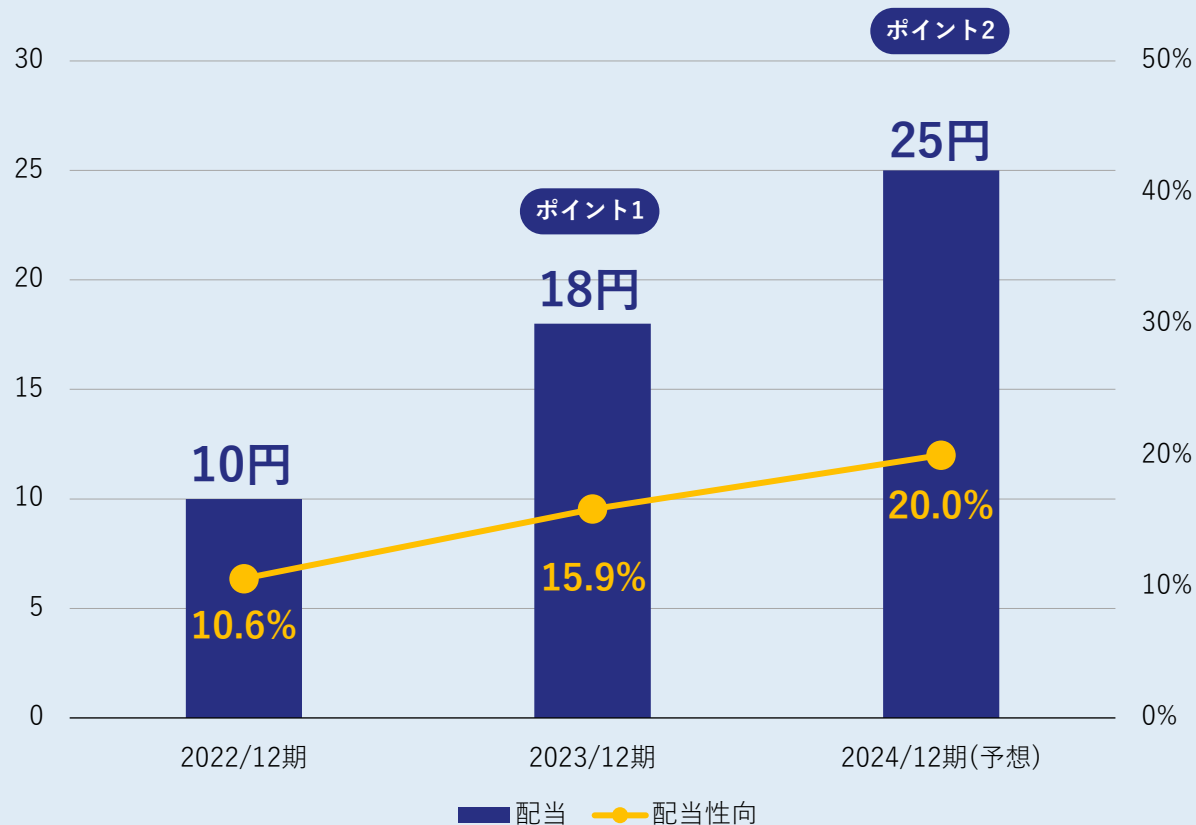
ポイント2

- 2024年12月期は、中期経営計画の每期5%増配目標のとおり、1株当たり25円の予想

ポイント3

- 成長への投資が必要となるものの、今後も株主還元は重視し、安定した配当を実施する方針

1株当たり年間7円増配し25円に



Appendix

中期経営計画

Vision 2027

2023年8月17日開示の資料より一部抜粋

*全編は以下よりご覧ください

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04553/c1948680/7714/4fb1/8398/ead3a5fac036/140120230817543595.pdf>

Vision 2027

2022年

システムインテグレーションを
中心としたIT企業

中期経営方針

- 進化するデジタル社会において、
成長性の高い技術とサービスを提供する
- 生産性の高い事業を構築し、
高収益企業となる事を目指す
- 社会への還元と課題解決に努め、
存在価値の高い企業となる

2027年

ITコンサルティング
企業へ

中期経営計画（経営指標）

プライム市場への上場を目指し、
規模と収益性の両立を目指す

	2023年12月期 実績
売上高	65.8億円
営業利益	6.5億円
営業利益率	9.9%
ROE	16.7%
配当性向	15.9%



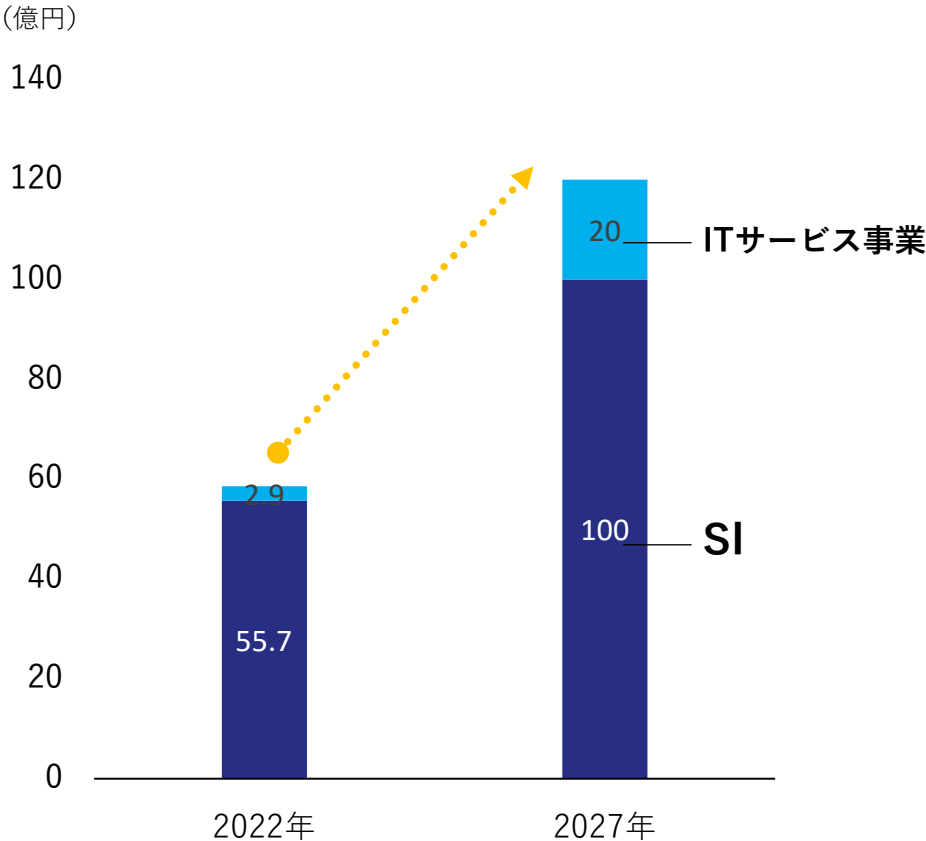
	18期連続 増収	8期連続 増益	7期連続 増配
2024年12月期 計画	75.0億円	7.5億円	10.0%
2027年12月期 計画	120億円以上	15億円以上	12.5%以上
			15%以上
			20.0%
			35%以上



事業別の売上高構成比目標

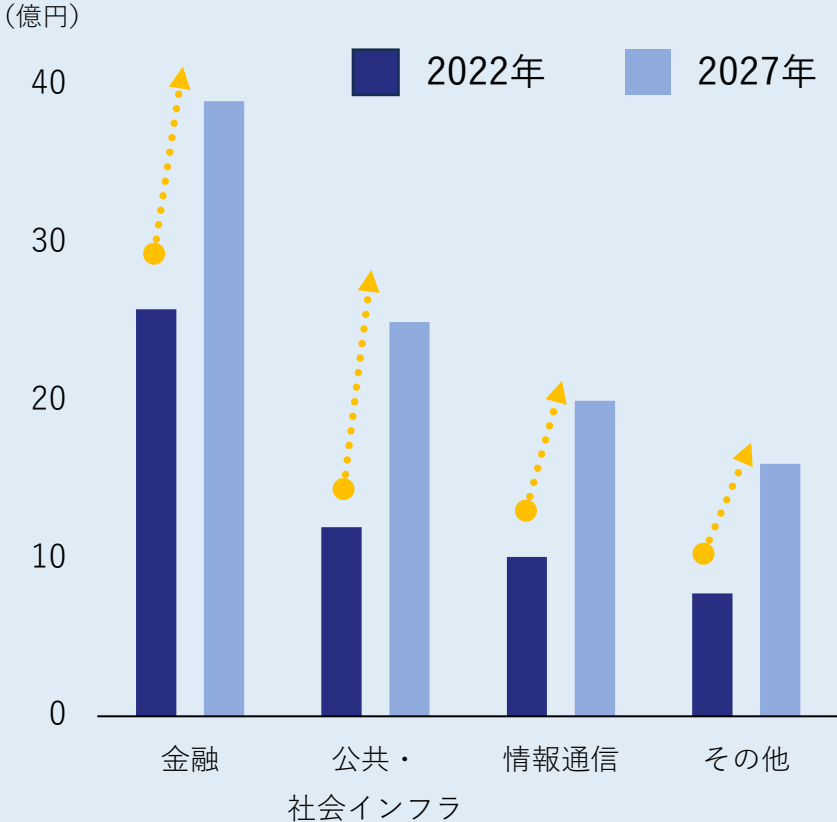
SI事業を100億円、
ITサービス事業を20億円で拡大

売上高計画



SI事業については、主力産業（金融、公共・社会インフラ、情報通信）を中心に拡大

SI業種別 売上高計画





戦略1

事業戦略

1. ITコンサルヘシフト
2. 成長性の高い領域の拡大
3. クラウドサービスの拡充



戦略2

経営基盤強化

1. 働き方改革
2. 人材成長支援
3. 業務改革

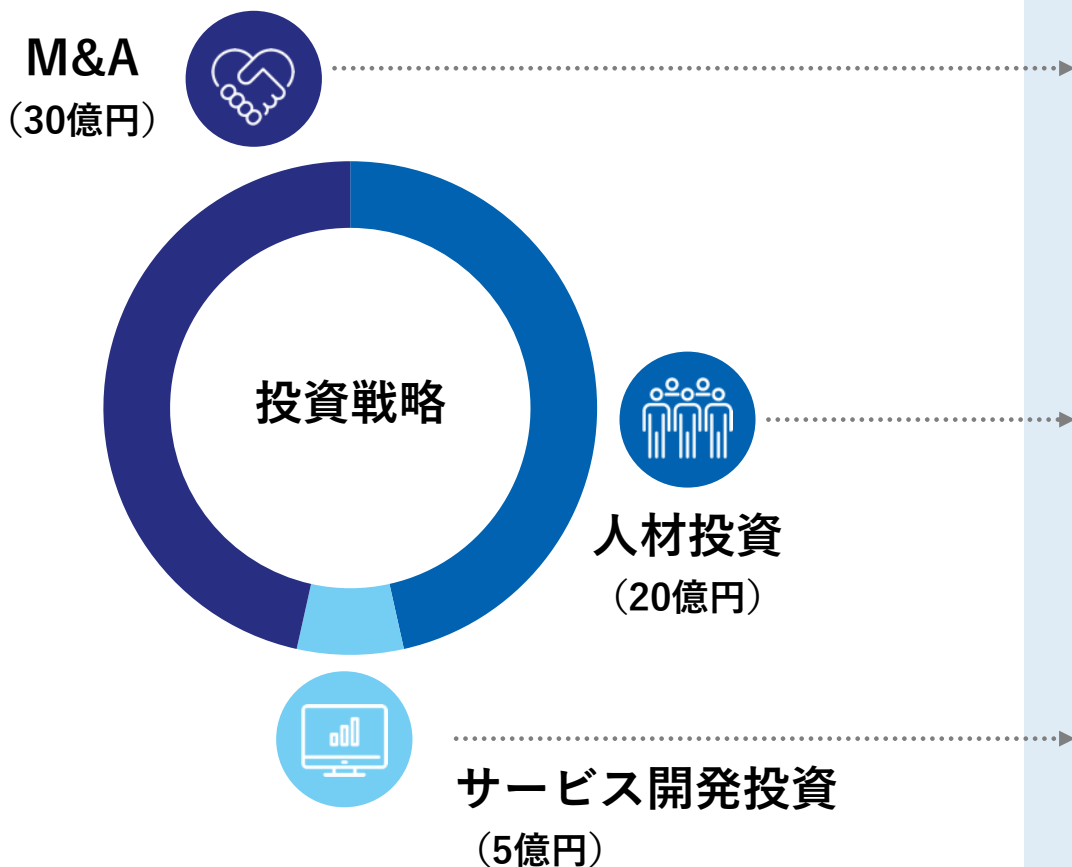


戦略3

投資戦略

1. 人材投資
2. サービス開発投資
3. M&A

継続的、積極的な投資戦略により、 確実な成長を目指す



- 潤沢な資金を積極的に活用
- コンサル強化、クラウドサービス拡充
- 豊富なM&A実績を活用
 - 2014年(株)テクノスクエアと資本業務提携 (のち吸収合併)
 - 2018年(株)オークネットよりクラウドサービス事業を承継
 - 2021年(株)ヒューマンソフトを子会社化 (のち吸収合併)
- ITコンサル人材、成長領域エンジニアの採用
- 教育・研修
- 福利厚生及び待遇の向上
- 調査・研究の強化

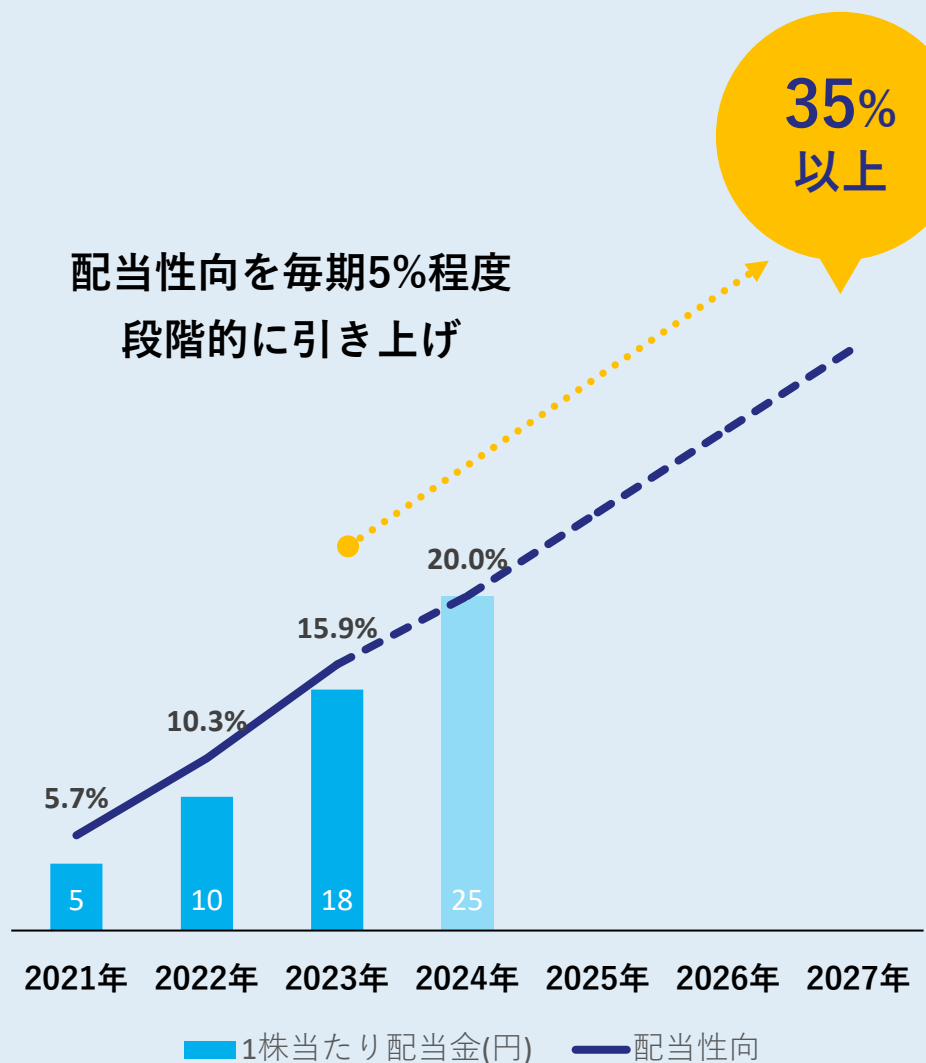
株主還元の強化

～配当性向35%へ向け、毎期増配を目指す～

成長への投資を行いつつ、株主還元も重視し、安定した配当を実施する方針です。

配当性向については、業績の推移を見据えつつ、毎期5%程度ずつ段階的に引き上げ、2027年に35%以上を目指します。

2024年12月期は1株当たり年間7円を増配し、合計25円を予想しています。



Vision 2027

戦略1

事業戦略

戦略2

経営基盤強化

戦略3

投資戦略



ITコンサルティング
企業へ

2027年12月期
計画

120億円以上

2020年12月期
37.2億円

成長領域

新シフト領域

既存領域

Appendix

財務ハイライト

財務ハイライト

決算年月	単位	2019/12期	2020/12期	2021/12期 (連結)	2022/12期 (連結)	2023/12期
売上高	(百万円)	3,410	3,723	4,774	5,854	6,581
経常利益	(百万円)	184	364	528	586	666
当期純利益 *1	(百万円)	131	258	349	390	462
資本金	(百万円)	50	74	77	86	45
純資産額	(百万円)	1,470	1,806	2,158	2,543	3,003
総資産額	(百万円)	2,042	2,487	3,097	3,487	4,064
1株当たり純資産 *2	(円)	382.65	451.60	537.32	626.36	725.76
1株当たり当期純利益 *2	(円)	34.13	66.61	87.30	97.05	113.13
自己資本比率	(%)	72.0	72.6	69.7	72.9	73.9
自己資本利益率	(%)	9.3	15.8	16.2	16.6	16.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	208	446	318	473	478
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	▲ 11	▲ 6	▲ 243	▲ 61	▲ 66
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	▲ 59	56	▲ 15	▲ 119	▲ 9
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	1,211	1,707	1,768	2,063	2,466
従業員数	(人)	281	298	399	430	455

*1 2021年12月期、2022年12月期は、親会社株主に帰属する当期純利益

*2 当社は、2020年6月26日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施。2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。
2019年12期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益を算定

本資料は、当社の業績及び経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

当資料に記載されている数値については、端数の切り捨て処理を行っており、合算値が一致しない箇所がございます。

本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製等を行わないようお願いいたします。

問い合わせ先

経営企画室 IR担当 03-6205-8540

ir@axis-net.co.jp